

単元名「もっとなかよしまちたんけん ～かさかけスキスキ大きくせん～」

【目標】地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くと共に、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするができるようにする。

【ゴールイメージ】
〈児童の思い・願い〉
探検先の「スキ」をみんなに伝えられて良かったな。
/町にはおもしろいところがたくさんあるな。
/前よりも町のことが好きになったな。

思いを〈形〉にする

【表現活動の工夫】

〈ICT活用・表現・発信〉

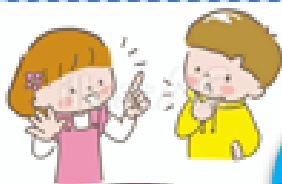
- Google ジャムボード
- Yチャート
- 動画
- ロイロノート

②活動や体験をする

〈ICT活用

・思考ツール〉

- Google マップ
- タブレットでの写真・動画撮影
- Googleジャムボード (Yチャート)



出会う

①学習対象に対して
思いや願いをもつ

【出会うの演出】

実体験

写真

実物

主体的・対話的で深い学びの実現ための

ふいかえる

単元を通して何に気付いた？
初めの思いや願いは？

はたらきかける②

③感じる・考える
④表現する・行為する
(伝え合う・振り返る)

〈思い〉をつなぐ

【他者との関わり】

- 公共施設で働いている人々 (駅、学校など)
- 商店や会社で働いている人々
- 保護者

人

- 施設の見学、質問
- グループごとの話し合い
- クラス全体への報告会

こと
体験

●単元の評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準		地域に関わる活動を通して、自分たちの生活は、さまざまな人や場所と関わっていることが分かっている。	地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えている。	地域に関わる活動を通して、地域に親しみ愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとしている。
小単元における評価規準	であう	①自分の身近な地域にはさまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付いている。	①行きたい場所や会ってみたい人を思い描きながら、探検の計画を立てている。	①地域の場所や人々に関わることへの関心や期待をもちながら、それらと関わろうとしている。
	はたらかける	②地域の人々と関わる活動をする際に、ルールやマナーを守っている。 ③探検で関わった人々の地域に寄せる思いに気付いている。 ④地域には自分たちのくらしを豊かにしてくれる人々がたくさんいることに気付いている。	②見つけたことの共通点や相違点を探したり、予想と比べたりしながらまとめ、伝え合っている。 ③親しみや愛着をもったことを振り返りながら、友達に伝えている。	②地域の場所や人々に親しみや愛着をもち、それらのよさを大切にしようとしている。 ③地域のよさをさらに詳しく調べるために、地域の人々と関わろうとしている。
	ふりかえる		④探検先の人々の地域に寄せる思いを振り返り、町のよさについて話している。	

●活動の流れと評価の計画（全20時間）

	学習活動	教師のコーディネート	知	思	態	評価方法
であう(4)	<ul style="list-style-type: none"> 行ったことのある店や行ってみたい場所等を出し合う。 探検に行きたい場所の希望を取り、行き先を決め、グループを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学区内にある場所や店等を出し合い、行ってみたいという意欲をもたせる。 児童から出てきた意見を参考に、<u>相手方に連絡し、協力を依頼する。</u> 興味のある場所に行けるよう配慮し、意欲的に活動できるように、グループを編成する。 児童が活動の見通しをもてるように、児童と相談しながら見通しボードを作成していく。 	①			<ul style="list-style-type: none"> 発言内容 ワークシート

<ul style="list-style-type: none"> 探検先で「スキ」を見つけてきて、みんなに伝えるために、グループごとに知りたいことや質問したいことを考えて、計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 探検に行く場所や仕事などについて予想をすることで、実際に見たり聞いたりしたときに、多くの気づきが生まれるようにする。 探検のルールやマナーを十分確認したり、道順を確認したりして、安全に行けるようにする。〔Google (あ)、Google マップ (ア)〕 探検して分かったことを写真、動画などのさまざまな方法で記録に残せるように、グループで一台タブレットをもたせる。タブレット係や時計係など全員に役割を与え、一人一人が意欲的に取り組めるようにする。 	①	①	<ul style="list-style-type: none"> 探検パスポート 行動観察
--	---	---	---	---

町の「スキ」を見つけて、クラスみんなに伝えよう



探検先には何があるのかな。どんな人が働いているのかな。「スキ」がたくさん見つかるといいな。



<p>はたらきかける (15)</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに探検に行き、見学したり質問したりする。 見学してきたことを探検パスポートにまとめる。 報告会の準備、練習をする。 報告会を開き、自分が好きだと思ったことを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>保護者に付き添いを依頼し、安全に探検に行けるようにする。(b)</u> <u>メモを取ったり、写真や動画を撮影したりして記録する。(タブレットで写真や動画を撮る際には、許可を取るように伝える) (b)</u> 予想と比べてどうだったか確かめることで、より興味をもてるようにする。 見学してきた写真を、Yチャートに分類し、その中から自分が「スキ」だと思うこと(もの・人・しごと)について選び、理由と共に伝えられるようにする。〔Google (あ)、ジャムボード (イ)〕 タブレットで撮影してきた写真や動画を用いて発表することで、分かりやすく伝えられるようにする。〔ロイロノート (イ)〕 報告を聞くだけでなく、互いに質問し合えるように、自分たちの探検と比べながら報告を聞くようにする。 	②	①	<ul style="list-style-type: none"> 探検メモ 探検パスポート 思考ツール ワークシート 発言内容
--	--	---	---	--

探検先には～がありました。自分が見つけた「スキ」なものは○○です。理由は△△だからです。自分も××してみたいです。



<ul style="list-style-type: none"> ・報告会を受けて、もっと詳しく伝えられるように調べたいことを付箋に書き、グループごとにYチャートに整理して質問を決める。(本時) ・グループごとに再度探検に行き、見学したり質問したりする。 ・見学してきたことを探検パスポートにまとめる。 ・探検で分かったことをグループごとにまとめ、報告会の準備をする。 ・再度報告会を開き、分かったことを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会で「スキ」が伝わるように発表できたグループを想起させたり、働いている人のインタビュー動画 (a) を視聴させたりして、探検先の方の工夫や思いに意識が向くような質問が考えられるようにする。 ・保護者に付き添いを依頼し、安全に探検に行けるようにする。(b) ・メモを取ったり、写真や動画を撮影したりして記録する。(タブレットで写真や動画を撮る際には、許可を取るように伝える) (b) ・報告会で「スキ」がより伝わるように、探検先の方の工夫や思いをまとめられるようにする。 ・国語科の「ことばでみちあんない」で学習したことを想起させ、話す事柄を考えて順序よく話したり、自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いたりすることができるようにする。 ・聞いている人に、分かったことだけでなく、自分の思いが伝わるように、気持ちが変化したことがあれば、それも伝えるようにする。[ロイロノート (イ)] 			<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考ツール ・行動観察 <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検メモ <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探検パスポート <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言内容 ・行動観察 <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言内容
ふりかえる(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・探検して分かったことを今後にどう繋げていくか考えさせる。 		④	<ul style="list-style-type: none"> ・発言内容 ・振り返りシート
<p>探検先の〇〇さんは、××名人です。〇〇さんは～なことができるようで、かっこいいと思いました。自分もやってみたくなりました。</p>				
<p>町にはいいところがたくさんあるな。行く前より町のことスキになったな。</p>				

活用する学習支援ソフト	(あ) Google (い) ロイロノート
活用するコンテンツ	(ア) Google マップ (イ) ジャムボード
活用する人材	(a) 探検先の方 (b) 保護者

生活科学習指導案

単元名「もつとなかよしまちたんけん ～かさかけスキスキ大さくせん～」

令和5年10月30日（月） 第2校時 2年1組教室

みどり立笠懸東小学校 2年1組 指導者 岩崎 雄一

I 単元（題材）の構想

1 単元（題材）の目標及び児童の実態

単元の目標	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くと共に、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするができるようにする。	
	目 標	児童の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々との直接的な関わりは少ないが、登下校時の旗振り活動や安全協力の家等でお世話になっているということを知っている。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の周りにあるお店や施設など、自分たちの生活と結び付けながら、どんなことをしているのか考えることができる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童が季節や安全に関するもの等を意欲的に見付け、身近な地域に関心を持つことができる。

2 評価基準

単元の評価基準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		地域に関わる活動を通して、自分たちの生活は、さまざまな人や場所と関わっていることが分かっている。	地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えている。	地域に関わる活動を通して、地域に親しみ愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとしている。
小単元	であう	①自分の身近な地域にはさまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付いている。	①行きたい場所や会ってみたい人を思い描きながら、探検の計画を立てている。	①地域の場所や人々に関わることへの関心や期待をもちながら、それらと関わろうとしている。
	はたら	②地域の人々と関わる活動をする際に、ルールやマナーを守っている。		

に お け る 評 価 規 準	き か け る	③探検で関わった人々の地域に寄せる思いに気付いている。 ④地域には自分たちのくらしを豊かにしてくれる人々がたくさんいることに気付いている。	②見付けたことの共通点や相違点を探したり、予想と比べたりしながらまとめ、伝え合っている。 ③親しみや愛着をもったことを振り返りながら、友達に伝えている。	②地域の場所や人々に親しみや愛着をもち、それらのよさを大切にしようとしている。 ③地域のよさをさらに詳しく調べるために、地域の人々と関わろうとしている。
	ふ り か え る		④探検先の人々の地域に寄せる思いを振り返り、町のよさについて話している。	

3 指導及び評価、ICT活用の計画 ※別紙参照

4 学習対象の価値

小学校に入学し1年が経ち、学校にも随分と慣れ、友達との関わりも増えてきた。一方で、自分の住む地域の人との関わりは、ほとんどない。そこで、町探検を通して、自分たちが住む地域のお店や施設の様子を知ったり、自分たちの町を支えている人々に触れたりすることは、自分の住む町を大切にしたいという思いにつながる。また、地域の人と繰り返し関わることで、物だけでなく、そこに住む人の願いや思いに気付くことが期待できる。

II 本時の学習（11／20）

1 ねらい 報告会を振り返ってグループで話し合いをしたり、インタビュー動画を見たりすることを通して働いている人に着目してもっと知りたいことや聞きたいことを考えることができるようにする。

2 準備

(教師) インタビュー動画 タブレット

(児童) ワークシート (Yチャート) 付箋 振り返りカード

主な学習活動 児童の反応・発言等[S]	時間	○指導上の留意点 ☆ICTの活用◎評価項目
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。	5	○報告会を振り返ったり、町探検で発見したことをYチャートに整理したものを確認させたりして、探検先のことをもっとみんなに伝えたいという気持ちをもてるようにする。 めあて：みんなに探検先の「スキ」がもっと伝わるように、作戦をたてよう。
2 報告会で「スキ」がよく伝わったグループの発表は、どんなところがよかったのか想起し、自分の作戦を考える。 S:○○グループの発表は、すごくめずらしいものがあつ	7	○児童がどんな質問をすればよいか考えられるように、前時の報告会で、探検先の方の仕事の工夫や「スキ」な気持ちを上手に伝えられたグループの発表を例に出して紹介し、どこがよかつ

<p>てびっくりしたな。</p> <p>S:△△グループの発表は、社長さんのことを発表していたな。仕事の工夫が分かってよかったな。</p> <p>S:質問されて答えられなかったことをもう1度聞いてみんなに伝えたいな。</p> <p>3 地域で働いている人のインタビュー動画を見て、自分で決めた作戦のためにさらに聞きたいことを考え、付箋に書く。(個別)</p> <p>S:「名人作戦」にするぞ。そのために、お店の人ががんばっていることを聞いてみよう。</p> <p>S:「なるほど作戦」にしよう。そのためにどうやってその仕事をしているのか、理由をきいてみよう。</p> <p>4 グループで意見を出し合い、同じような意見はまとめる。(グループ)</p> <p>S:「名物作戦」にするために、一番高い品物について、どうやって仕入れたのかと、売るためにどうやって宣伝しているのか詳しく聞いてみよう。</p> <p>S:「名人作戦」にするために、いつから働いているのか、どうしてこの仕事に就いたのか聞いてみよう。</p>	<p>13</p> <p>15</p>	<p>たのかを考えさせる。</p> <p>○児童の発言からキーワードになるような言葉(びっくり、なるほど、名人、名物など)を取り上げて板書し自分がどんな作戦にするのか考えられるようにする。</p> <p>☆名人紹介動画</p> <p>○教師が撮影したインタビュー動画を見せることで、質問が「もの」に偏っているグループは、働いている人の仕事に対する思い等、多面的に質問が考えられるようにする。</p> <p>○考えられない児童には、報告会でよかったグループの発表を参考にするようにアドバイスをする。</p> <p>○人に着目させるために、一人一人が書いた付箋をYチャートに貼り、質問に偏りがあるグループは視覚的に気付けるようにさせる。また、同じようなものはまとめてられるように重ねて貼らせる。</p> <p>○Yチャートに分類する際に「作戦」ではなく、質問の内容で分類するようにし、児童の思いを大事にできるようにする。</p> <p>○探検先の方に迷惑がかからないように、グループでいくつ質問をするのか考えて多くなりすぎないように意見をまとめさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◎発言内容やワークシート(Yチャート)の質問から、「地域のよさをさらに詳しく調べるために、地域の人々と関わろうとしている。(学びに向かう力、人間性等)」を評価する。</p> </div>
<p>5 本時のめあてに対するまとめを確認し、学習内容を振り返る。</p> <p>S:探検先のすごいところを見つけて、みんなに知らせたいな。</p>	<p>5</p>	<p>○振り返りカードに記入し、次時に意欲を繋げられるようにする。</p>